

## 女性起業家都は支援を

尾崎都議要求 知事「最大限に」

日本共産党の尾崎あや子東京都議は18日、都議会本会議の一般質問で女性起業家問題をとり上げ、起業支援の抜本的強化を併添要一知事に求めました。

尾崎氏は、アメリカでは女性起業家支援に特別な手だてを行い、1997～2007年に女性の経営企業が44％増加したことなどを紹介。一方、日本は資金繰りや相談窓口、起業時のコスト軽減支援など、女性が「企業経営者となるための環境が十分に整っていない」と指摘し、知事の認識をただしました。

併添知事は「女性の活躍を推進していくことが必要」「新たなビジネスを創出する『女性の力』を最大限に引き出していく」と答弁しました。

尾崎氏は、都として女性の起業に関する相談、交流などのイベントを行うよう要求。小林清生活文化局長は、

より実践的なセミナーの開催など「講師と参加者、参加者同士の交流を支援する」と答えました。

尾崎氏は、女性に特化した品川区の創業支援を紹介し、都として区市町村の創業支援事業に財政支援をすること、「女性創業支援センター」やワンストップ

の相談窓口の設置、病気や出産のときに安心して休めるよう援助するヘルパーの派遣など、きめ細かな支援策を都に求めました。

山本隆産業労働局長は「区市町村によるインキュベーション(起業支援)施設の整備に対する支援を検討する」と答弁しました。